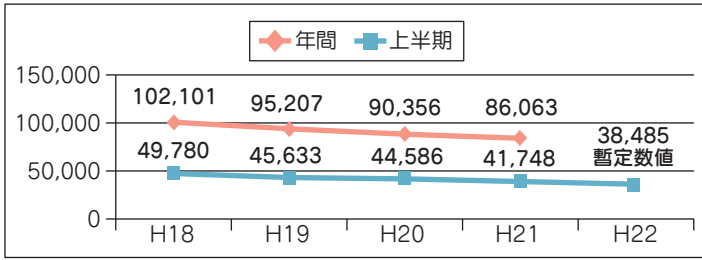




防犯ふくおか

発行編集

社団法人 **福岡県防犯協会連合会**
 〒812-8576 福岡市博多区東公園7番7号
 福岡県警察本部内
 電話 092(633)3221
 ホームページ <http://www.fukuboren.com/>
 昭和32年8月5日 第3種郵便物認可
 毎月1回1日発行 定価一部5円
 印刷 白木メディア株式会社



犯罪発生件数 8年連続減少!!
刑法犯発生件数 38,485件
前年同期比 7.8%減少

平成22年
上半期
福岡県の犯罪情勢

刑法犯の発生状況

平成22年上半期の刑法犯発生件数は、3万8,485件で、前年同期に比べます(3,263件)7.8%減少し、8年連続で減少しています。また、平成15年の約7万5千件と比較すると概ね半減するなど、減少傾向が継続しています。

身近で起る街頭犯罪等の発生状況

下記のグラフで示すとおり、県民の身近で発生している街頭犯罪等の10罪種は、前年同期に比べ、総数的に約13%減少しています。罪種別では、ひったくりや車上ねらい、オートバイ盗、自販機ねらい、住宅対象侵入盗が減少し、自転車盗がほぼ横ばいで推移しています。

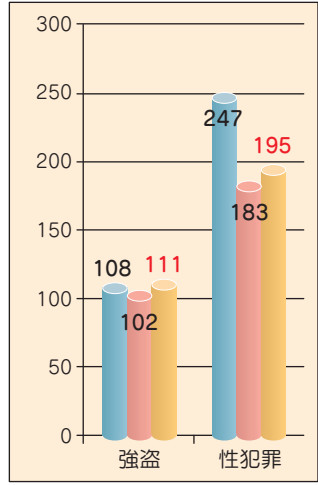
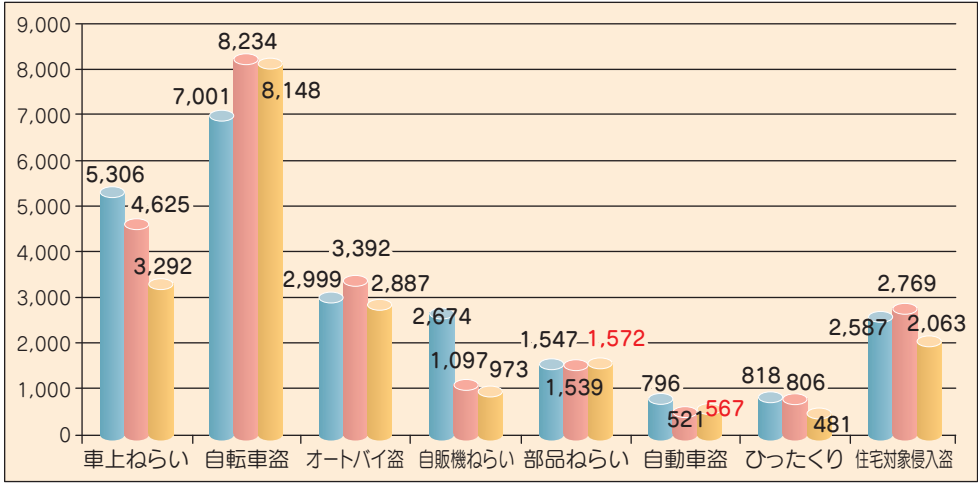
- 一方で、増加している罪種は
- ・強盗(約9%増加)
- ・性犯罪(約7%増加)
- ・部品ねらい(約2%増加)
- ・自動車盗(約9%増加)

今後、下半期に向けて増加に転じ、また、多発するところも心配されます。皆さん一人ひとりが防犯意識を持ち、地域の連帯感を高めて、安全・安心なまちづくりに努めましょう。

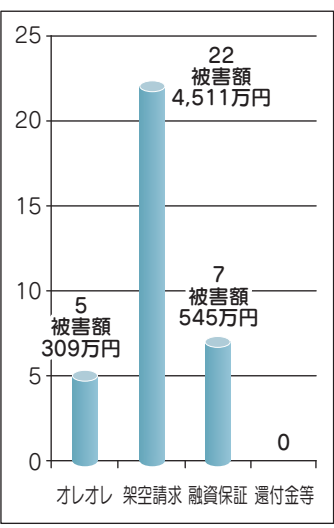
みんなで安全なまちをつくらう



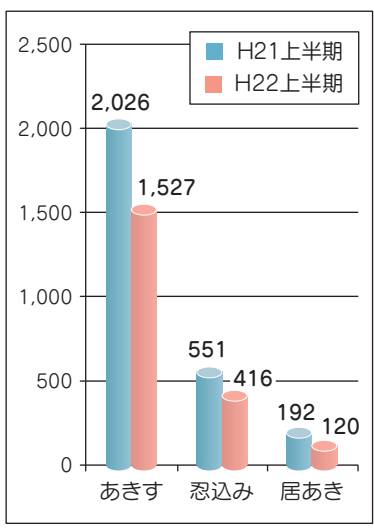
身近で起る街頭犯罪等の発生状況 ■ H20上半期 ■ H21上半期 ■ H22上半期 ※赤字は前年同期の増加を示す



《最近の事例》最近、警察官等と騙るオレオレ詐欺未遂事件が多発しています。キャッシュカードの番号が漏れている。通帳を持っていきますか。一人人情報が漏れている。被害確認したい。等の電話がかかっています。安易に信用することがないよう、本音かどうか必ず確認しましょう。



県下の振り込め詐欺の発生件数は、34件で、前年同期に比べ大幅に減少していますが、依然として架空請求事案が多発しています。



★住宅対象侵入盗の内訳
 住宅対象侵入盗で、あきすは24.6%、忍込みは24.5%、居あきは37.5%とそれぞれ大幅に減少しました。

ふくおか防犯協会

自転車盗が多発しています

身近に起きる犯罪の中で、最も多いのが自転車盗で街頭犯罪等10罪種の約40%を占めています。自転車盗は少年の犯行が多く、「簡単に盗めそうだから」「歩くのが面倒だから」など罪の意識が希薄で、再犯の恐れも高く、少年の非行防止・健全育成からも見過ごすことができない犯罪です。

▽被害防止のポイント

- ・購入したときに付いているカギだけでは十分とはいえません。ワイヤー錠やチェーン錠などで二重ロックをしましょう。
- ・防犯設備の整った駐車(輪)場等を利用しましょう。
- ・短時間の駐車でも必ずカギをしましょう。
- ・自転車防犯登録をしましょう。

自転車防犯登録していますか!!

自転車の防犯登録は、法律によって義務付けられています。防犯登録をすることによって盗難被害の防止につながるとともに、盗難被害や放置された自転車が発見された場合などに返還することができます。



《自転車防犯登録の手続き》

- ・自転車販売店、地区防犯協会、交番、駐在所ですることができます。
- ・登録手数料は、500円で7年間有効です。

暴力団に「みかじめ料金」を要求されたら... 「みかじめ通報ダイヤルへ」通報しよう

福岡県暴力団排除条例が施行され、5か月を経過しました。暴力団組員などから「みかじめ料」二用心棒代「シヨバ代」二不当な料金での商品のあつせん「二不当な料金での商品リース」などを受けていませんか?... 受けた場合は、「みかじめ通報ダイヤル」暴力団通報ダイヤルと共通番号へ通報しましょう。

みかじめ通報ダイヤル

092-622-0704

受付時間

午前9時30分から午後5時30分 (土、日、祝日を除く)



断固拒否

福岡県暴力団排除条例を初適用

福岡県警では、6月27日、指定暴力団山口組系幹部に対し、福岡県暴力団排除条例に基づいて、みかじめ料を要求しないように勧告しました。店側は、3万円から36万円を毎月支払っており、その金額は10年間で7,000万円以上にもなります。暴力団からのみかじめ料等の要求に対しては断固拒否して、暴力団の存在を許さない福岡県を実現しましょう。

くらしの110番 誰でも簡単に高収入!? パチンコ・競馬攻略法で稼ぐことはできません!

★相談事例1

競馬必勝サイトで情報提供メールに登録したが的中しなかった。ある日、サイトから「的中率の高い情報ももらえるスペシャル会員に当選したので、1D発行費用80万円を入金してください」と電話があった。今までつき込んだお金を取り戻せるならと思うと借金して支払ったが、当たらなかった。苦情を言う「情報どおりやれば儲かる。やり方が悪い。」とパネルティとして18万円を支払われた。

★相談事例2

雑誌広告を見てアルバイトに応募したら、パチンコ台を宣伝する仕事を紹介された。パチンコを實際にしようとしたら台だとPRするのが仕事で、マニュアルどおりに操作すれば必ず稼ぐことができるという説明を受け、保証金20万円を事前に預けるよう指示された。必ず稼げるから大丈夫と言われたので貯金を崩して預けた。しかし、店や台の場所を指示されているが、稼ぐことができないし、会社とも連絡が取れなくなった。



◎アドバイス

●パチンコや競馬などのギャンブルはゲームとは違います。必ず儲かる「誰でも簡単に稼げる」という話を信用してはいけません。

●「稼がない」「損を取り戻したい」という心理を利用して、ハガキ、メール、電話等で勧誘してきます。電話勧誘販売の場合は契約書の交付義務があり、断った場合には再勧誘してはいけないという禁止規定(特定商取引法)がありますのできっぱりと断りましょう。

●業者と連絡が取れなくなると返金の交渉自体が難しくなりますので解約したい場合や困った場合は、速やかに消費生活センターなどの相談窓口に相談しましょう。

《資料提供》福岡県消費生活センター

平成22年度 「安全・安心まちづくり 県民の集いふくおか」の開催

「安全・安心まちづくり」県民の集いふくおかは、県、警察、県防犯協会連合会の共同開催で、今回で4回目を迎えます。安全・安心して暮らせる福岡県を実現するため、これまで多くの防犯ボランティア団体や県民の皆さんの参加を得て開催されています。今回は次のとおり開催されます。皆さんの積極的な参加をお願いします。



日時 平成22年10月10日(日) 午後1時00分～午後4時30分

場所 福岡市中央区天神1丁目1-1 アクロス福岡(地下2階イベントホール)

主催 福岡県 福岡県警察 福岡県防犯協会連合会

大会内容 主催者挨拶 防犯功労者等表彰式 基調講演 講師 小宮信夫先生(立正大学教授) 防犯ボランティアアサミット

その他 かねてこバザール(不要になったおもちゃを持ち寄り、かえっこするワークショップ) 地域防犯活動団体・企業のブース展示 地域安全運動公募ポスターの展示 防犯機器の展示

私の提言

少年の健全育成を願って!!
問題行動の根っこ
大切なお守り



北九州少年サポートセンター
少年補導職員
安永 智美

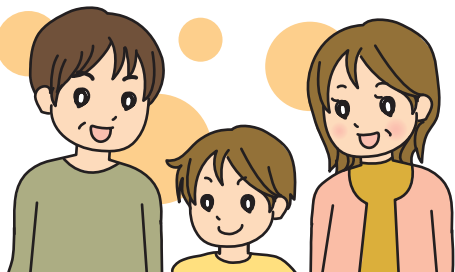
ある中学校の先生からシンナー乱用の相談を受け、「絶対に会わないよ」と拒否していた少女のもとを訪問し、半ば強引に会ったとき、少女は足を投げ出して、ふてくされた顔で椅子に座っていました。彼女の第一声は、「や・い・あ・く」でした。私たちにはよくある出会いの場面です。だが、その後数時間、彼女はいつのまにか身を乗り出し、せきを切ったように自分のことを話し出したのです。

「両親が毎日争っている。家にいてもたまらなく寂しい、だから家を出る(家出)。シンナーを吸うと苦しみが薄まる。」等々、これまで吐き出せずにいた心の苦しみは少女の問題行動の根っこでした。

少女と次に会う約束をしたものの、こちらの都合で一か月も待たせ再会したとき、「会った日お待ち遠しかった」という彼女の言葉に「や・い・あ・く」の出会い「が」出会えてよかったね」変わっていかなくことが私たちの喜びです。私がかれまで出会った、さまざまな問題を抱えている子どもたちへの関わりの中でわかったことは、問題行動の根っこは子どもが誕生し、現在までの成長過程において吐き出されないうまくずつと溜められてきた不安や寂しき、悲しみや怒りだといことなのです。そして、この出口のない負の感情が、ある時期にさまざまな問題行動として表れているように感じます。

大切な子どもたちを犯罪の被害者にも加害者にもしないための「お守り」について考えた事例があります。小学5年生の男の子は、同じクラスの友達全員にゲーム感覚で万引きが広がり、最後の一人になったとき、友達から「早くやれよ。弱虫」と毎日責められるので、とうとう一度だけ、消しゴムを盗ろうと店に行きました。消しゴムに手を伸ばしたそのとき、お母さんの顔が浮かんだ。お母さんの顔は、怒った怖い顔ではなく、今にも泣きそうな悲しい顔だった。『だめだ。お母さんが泣いてしまふ。僕は絶対にやらない。』と踏みとどまりました。超えてはならない一線を前に最後の一人になっても自分を守る、大切にできる子どもたちの心の中には、この人だけには悲しませたくない、裏切られないという存在や「自分は親に愛されている。大切な存在だ」という自尊心や信頼など【大切なお守り】があるのです。

そして、そのお守りは、お父さん、お母さんだということとをどっか忘れないうべいですね。



地域の力
頑張っています

防犯ボランティア団体の紹介
(ペンリレー)



◎団体名
御笠青色パトロール隊

◎活動地区
筑紫野市内

◎活動内容等

私たちの団体は、悲惨な事件や事故、高齢者の孤独死や社会的孤立の抑止を目的に平成19年2月に組織を立ち上げて活動を続けています。

隊員は131名で、その内訳は60歳未満が半数以上、女性隊員も約2割を占め、11台の青パトが地域をくまなく巡回し、1日のパトロール回数月平均計50回、走行距離約1300キロにおよび、通常平日の登下校時間帯の児童の見守り活動、高齢者宅の定期的な訪問活動を実施しています。

また、地元で発生した事件に関する「ふっけい安心メール」受信時や第2、第4金曜日には、警察との合同パトロールも実施しています。

今後も参加隊員の世代ミックスにより組織の更なる活性化を図り、平均年齢の若さを武器に、安心して住めますづくりを目指して活動を続けていこうと考えています。



◎団体名
上津校区防犯協会

◎活動地区
久留米市上津校区

◎活動内容等

私たちの団体は、子どもの見守り活動を中心に、地域住民の安全確保を目的として昭和52年に発足し、平成14年から女性3名を含む16名の体制となりました。

平成15年には、久留米市から「違法広告物除去認定」の委嘱を受けるなど幅広く地域活動を実施しています。

活動するときには、会員一同お揃いの制服を着装して行っていますが、顕示効果を高めることができることも、地域の皆さんから見られていると思うと気持ちも引き締まる思いです。

今年、青パトを新たに一台導入して、今まで以上にパトロールの回数を増やし、子どもの登下校の時間帯を中心に、見守り活動や安全指導を行うなど、地域の安全対策に活発に取り組んでいます。

これからも、警察との連携を強化して、より効果的な活動となるよう、智慧を出し合い、子どもの見守り活動や地域活動を継続し、安全・安心な街づくりに貢献していきたいと思います。

